

みずほCustomer Desk Report 2020/01/17号(As of 2020/01/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.96
TKY 9:00AM	109.88	1.1152	122.54	GBP/USD	1.3040
SYD-NY High	110.18	1.1172	122.88	AUD/USD	0.6907
SYD-NY Low	109.86	1.1127	122.53		
NY 5:00 PM	110.18	1.1137	122.68		
NY DOW	29,297.64	267.42	日本2年債	-0.130	0.00bp
NASDAQ	9,357.13	98.44	日本10年債	0.007	▲0.30bp
S&P	3,316.81	27.52	米国2年債	1.5647	0.60bp
日経平均	23933.13	16.55	米国5年債	1.6239	2.29bp
TOPIX	1728.72	-2.34	米国10年債	1.8083	2.27bp
シゴ日経先物	24,065.00	110.00	独10年債	-0.2190	▲1.80bp
ロンドンFT	7,609.81	▲32.99	英10年債	0.6425	▲0.85bp
DAX	13,429.43	▲2.87	豪10年債	1.1780	▲2.40bp
ハンセン指数	28,883.04	109.45	USDJPY 1M Vol	4.38	▲0.35%
上海総合	3,074.08	▲15.96	USDJPY 3M Vol	4.98	▲0.13%
NY金	1,550.50	▲3.50	USDJPY 6M Vol	5.36	▲0.14%
WTI	58.52	0.71	USDJPY 1M 25RR	-0.73	Yen Call Over
CRB指数	182.25	▲0.45	EURJPY 3M Vol	5.53	▲0.07%
ドルインデックス	97.30	0.07	EURJPY 6M Vol	5.76	▲0.11%

【昨日の指標等】

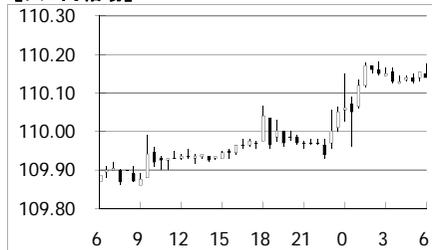
Date	Time	Event	結果	予想
1月16日	16:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	12月 0.5%/1.5%	0.5%/1.5%
	22:30	米 フィアデルフィア連銀景況指数	1月 17	3.8
	22:30	米 小売売上高(前月比)・速報	12月 0.3%	0.3%
	22:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)・速報	12月 0.7%	0.5%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	-	204k

【本日の予定】

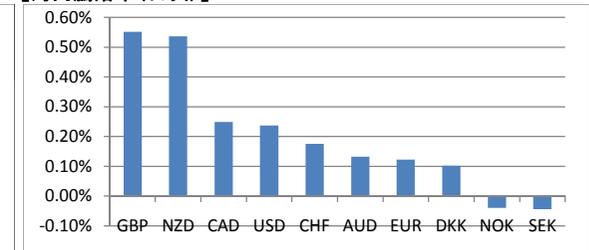
Date	Time	Event	予想	前回
1月17日	11:00	中 小売売上高/鉱工業生産/GDP(前年比)	12月 7.9%/5.9%/6.0%	8.0%/6.2%/6.0%
	18:30	英 小売売上高(除自動車燃料・前月比/前年比)	12月 3%/0.8%	0.8%/-0.6%
	19:00	欧 GPI(前月比/前年比)	12月 1.3%/0.3%	1%/0.3%
	22:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	12月 1380k/1460k	1365k/1482k
	23:00	米 ハーカー・フィアデルフィア連銀総裁 講演	-	-
1月18日	02:45	米 クォールズFRB副議長 講演	-	-

東京	東京時間のドル円は109.88レベルでオープン。前日の米中第一段階通商合意調印を受けて、ドル円は底堅く推移し、仲値前に109.99まで上昇。しかし新たな材料に乏しいことからすぐに値を戻し、その後は109.90近辺の狭いレンジで推移。結局109.95レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.95レベルでオープン。米中第一段階合意をこなし材料難もあり110円を挟んだ小幅値動きに終始。109.94-110.06円で取引され109.97レベルでNYに渡った。ポンドは、1.3035レベルでオープン。朝方にユーロが強含むとポンドも連れ高。一部ではユーロに買いフローが入ったとの噂が聞かれた。その後、12月のECB理事会議事要旨が発表されるとユーロが上振れしたのにポンドも連れ1.3074まで買われ1.3063レベルでNYに渡った。(ロンドンポンド 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	ドル円は海外時間で新規材料難から110円を挟んだ小幅レンジにて推移した後、109.97レベルでNYオープン。朝方発表された米12月小売売上高でコア前月比が市場予想を上回った他、1月フィアデルフィア連銀景況指数も好調な結果となり、ドル買いから110.05まで上昇した後、米金融大手の好決算などを背景にキャップアップオープンした株式を横目に110.15まで一段高。主要株式指数が過去最高値圏にある中で、やや上値は重くなり、ドル円も一時110円を割り込む場面もみられたが、じりじりと水準を上げる株式と米金利にドル買い優勢となり、高値110.18をつけ、その後は新規材料待ちに110.15近辺でもみ合う展開で、110.18レベルにてNYクロス。一方、ユーロドルは、ECB理事総会議事要旨(2019年12月11日-12日分)にて、「現在の金融政策がユーロ圏経済に効果及ぼす時間を与える必要がある」として一部委員の認識が明らかになるなど、当面のECB政策据え置き姿勢が示唆される内容が明らかになり、海外時間でユーロが買われ、1.1172まで上昇した後に1.1165レベルでNYオープン。NYオープン後は堅調な指標や株式を背景にドルが買われ、ユーロドルは朝方から軟調に推移。安値1.1127まで下落すると、その後は1.1130-1.1140近辺で方向感なく推移し、1.1137レベルでクロスした。この日、米上院本会議は北米自由貿易協定(NAFTA)に代わる「米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)」の実施法案を承認したが、ドル円、ユーロドル相場の反応は限定された。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 当面動きの出なさそうな主要国中銀

2019年、FRBは3回の予防的利下げ、ECBは緩和政策を強化、とそれぞれ踏みきり、日銀は緩和政策維持を貫いた。しかし、FRBの予防的利下げの背景ともなった貿易戦争の懸念は当初と比べ後退。緩和政策の効果もあり、米国は経済指標の底堅さを維持、物価は米欧ともに2018年後半からの軟化に歯止めをかけることに成功している。直近会合時の各中銀トップの発言を抜粋すると、パウエルFRB総裁(12/11)「現行の政策スタンスが引き続き適切である可能性が高い」、ラガルドECB総裁(12/12)「成長見通しのリスクは依然ダウンサイドだが、多少深刻でなくなってきた」、黒田日銀総裁(12/19)「2%の目標は堅持、早期実現へ緩和続ける」「モメンタム損なわれる恐れが高まってきている」と、それぞれ当面様子見のスタンスが示唆されている。来週21日に日銀、23日にECB、29日にはFRBが政策決定会合の結果発表を控えるが、前会合から状況は大きく変わっておらず、政策は据置き、当面は緩和政策の効果を見極めるために様子見のスタンスを継続するのだろう。

そうすると政治関連トピックに注目が集まりそうだが、米中通商問題も先日第1弾合意に署名がなされ、米-イランの問題も最悪のシナリオには発展せず、一旦材料が出尽くした印象。係る中では最高値圏で推移を続ける各種株式市場にも急反落のイメージはなく、クロス円は堅調だろうし、主要国内で最高水準の金利となっている米ドルは必然的に買われやすい。ドル円には依然上昇余地があると想定しておきたい。(高村)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 高村・木村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア

ブル	ベア
13	7